

研究室 からの メッセージ

145

左から 手島、小野、山下、
尾形、檜橋、中村

Data(2016年12月現在)

所在地: 〒825-8585 福岡県田川市伊田4395

スタッフ: 尾形由起子(教授), 山下清香(准教授), 小野順子(講師), 手島聖子(助教), 檜橋明子(助教), 中村美穂子(助手)

URL <http://www.fukuoka-pu.ac.jp/>



福岡県立大学看護学部 ヘルスプロモーション看護学系 公衆衛生看護領域

History and Now

どのような機関なのでしょう？

福岡県立大学は、看護学部と福祉系の人間社会学部からなる2学部の大学です。看護学部は、1945(昭和20)年に設置された県立保健婦学校を前身とする福岡県立看護専門学校を発展的に改組し、2003(平成15)年に設置されました。学内には専門学校から引き継いだ真島智茂先生の銅像があり、真島先生の姿を拝んでは、教員一同、気を引き締めて教育研究、社会貢献に精進する日々です。各地で活躍しておられる先輩方から、学生も教員も温かく見守っていただいています。

Education

どのような教育をしていますか？

看護学部2年次に定員90名から10~15名を選抜し、保健師マインドと実践力を備えた保健師の育成をめざしています。地域で暮らす人々の健康を守ることが、誰もが生きがいをもって毎日の生活を送ることができる社会システムをつくることに、健康面からアプローチする方法を実践的に学べる工夫をしています。演習では在宅介護の経験者への家庭訪問など多様なフィールドワークを行い、学内の講義は、虐待防止や母子保健のエキスパート保健師、地域ケア包括システムや在宅医療を推進する仕組みを作るための先駆的活動に取り組んでいる保健師とともに組み立てています。

Research

どのような研究をしていますか？

教員は保健師経験を生かし、県や市町村の保健師が問題意識をもっている課題の解決につながる研究に取り組んでいます。これまで高齢者の介護予防活動の現状分析や、コミュニティ支援方法の検討、保健師の役割の明確化などの研究を行ってきました。乳幼児健康診査の結果分析を通して育児支援の方法を検討するなど、地域の健康課題を明確化し、現場の保健師とともに保健活動を考えていく研究を大切にしています。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

超高齢社会が到来し、地域で高齢者の療養生活を支えるための地域包括ケアシステム構築が図られています。現在、健康増進計画の検討会議の運営、介護予防を推進するケアシステム構築のための保健師の事業企画、在宅医療推進を目的とした多職種の研修会の企画・実施・評価などに携わり、行政保健師や訪問看護師等と共同で保健活動を展開しています。また、5年前から現場のベテラン保健師の会を開き、業務の課題や人材育成について議論しています。卒業生対象のリカレント教育は3年目となり、卒業生の交流を深めています。今後、現任教育にも一層力を入れていきたいと考えています。

ひとこと

選択制の学生を教育する中で、学びに対し「動機づけ」のある学生を育てることがこんなに楽しいものかと教員間で話しています。この「楽しさ」は、私たちの原動力になっています。

……尾形

あなたの研究室を紹介してください! 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 ●電話、FAX、E-mailのいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉hokenshi@igaku-shoin.co.jp